

## 指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：平成28年度）

担当部署名	産業文化部 林業振興課
評価対象期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	28,750,000 円

## 1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市森林公園
	所 在 地	松阪市伊勢寺町1678番地
	設置目的	自然に親しむ環境を市民に提供するとともに、森林資源の活用を図り、併せて地域の経済的向上に資することを目的とする。
	設備の概要	○施設面積5,022ha ○バンガロー6棟 ○貸出テント5張・持込テント15張 ○共同浴場（宿泊者のみ利用可） ○炊事棟 ○バーベキューハウス ○木工教室 ○食堂 ○芝生広場（遊具有） ○親水公園 ○展望台

## 2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	松阪飯南森林組合
	所 在 地	松阪市飯南町粥見5725番地3
指定管理業務の内容		○公園の運営企画、利用及び行為の許可、施設の利用料金の徴収等、維持管理に関する業務。
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	○バンガロー（宿泊）286棟、設置テント50張、持込みテント163張の利用をして頂きました。 ○木工教室の利用者は、1,002人の結果となりました。 ○森林公園独自のイベントでは、自然に触れ合いながら子供から高齢者まで体験して楽しんで頂く「春、秋の登山やお正月まるごと準備会」などの17イベントを開催いたしました。
	サービスの質の向上	○公園のホームページを通して森林公園便りやイベント情報を記載し案内を兼ねたPRの発信を行いました。 ○掲示板を活用して、イベント等の近況情報等の掲示案内を発信しました。 ○桜の花見時期に合わせ、七輪長屋の七輪の入替を図ることで、気持ち良くバーベキューを楽しむ、親しんで頂けるようにしました。 ○好評だったワンコインランチの提供雑誌本が無くなったことから、公園オリジナルによるランチの提供を図り、継続してワンコインで食事ができるようにしました。
	施設・設備等の維持管理	○バンガロー施設へ、自動火災報知機設備の取り付け施行をしました。 ○複合遊具の保守点検等により、安全確保のための修繕を行いました。 ○井水ろ過設備の加圧ポンプの修繕を行い、園内施設への安定した飲料水の供給提供を図りました。 ○フロンガスの環境管理による、公園施設の空調、冷凍冷蔵機器の保守管理を行いました。
指定期間	平成 28年 4月 1日 ~ 平成 33年 3月 31日	

(単位：円、税抜)

	事業計画	事業収支実績				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業収入	指定管理料	26,620,371	26,620,371			
	食堂・ファーストフード販売店収入	12,000,000	10,202,290			
	利用料金収入	4,480,000	3,391,684			
	その他収入	1,758,000	2,704,095			
	計 (A)	44,858,371	42,918,440	0	0	0
事業支出	人件費	25,717,000	25,919,222			
	運営費	8,537,000	7,414,264			
	施設維持費	5,693,000	5,277,861			
	仕入	4,907,000	4,572,647			
	計 (B)	44,854,000	43,183,994	0	0	0
収支差引額 (A) - (B)		4,371	-265,554	0	0	0

## 3. 指定管理者業務運営項目別評価

評 価 項 目		指定管理者 自己評価		担当部署評価		
業務運営項目	内 容	採点	判定	採点	判定	
管理業務の 実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	5	B	5	B
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	4		4	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	3		3	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	4		4	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	3		3	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	4		4	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	4		4	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	5		5	
サービスの 質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。(注1)	4	B	3	B
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	4		4	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	4		4	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	4		4	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	4		4	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	4		4	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	4		4	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	4		4	
施設・設備等の 維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	5	A	5	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	5		4	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	4		4	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	4		4	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		5	

【(注1)のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-(2)の採点基準にて評価】

## 4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
<p><b>【努力した点・成果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○夏季時期になると井戸（原水）が減少することから、夏休みの繁忙期に渇水に至らないよう渇水対策に備えた管理を行いました。</li> <li>○公園施設及び芝生広場等の園内を通して、企業の親睦会・研修・イベント等の催しを提案し施設利用して頂くよう努めました。</li> <li>○食堂メニューをアレンジし、公園オリジナルワンコインランチの提供を図りました。</li> <li>○来園者がわかりやすい丁寧な対応に心掛け、気持ち良く利用して頂きました。</li> </ul>	<p><b>【評価すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理においては、来園者の安全・安心を第一に計画的、または緊急的に修繕等を行い、長寿命化やトラブル回避に努められた。</li> <li>○食堂利用では、公園オリジナルのワンコインランチの提供により、リーズナブルで美味しい食事の提供に尽力された。</li> </ul>
<p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○来園者や宿泊者に対して公園の周辺の案内または、松阪市の魅力を案内できるように市観光課との連携に努める。</li> <li>○施設の老朽化が進み設置されている機器関係も寿命が来ており、安全性を図るうえに於いても維持管理には特に注意をして、施設利用者が支障なく快適に利用できるよう努める。</li> <li>○森林公園の将来または、未来の公園を見据えた公園管理に努め、より多くの来園者の憩いと健康作りの場としての施設になるよう努める。</li> </ul>	<p><b>【指導すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○来園者増に向け、毎年継続のイベントの内容を見直したり、新たなイベントにも積極的に取組み、特に、冬の閑散期の増に向け努力されたい。</li> <li>○学校や企業等各種団体へのキャンプをはじめ、イベントや研修、オリエンテーション等様々な形の中で利用していただける様、しっかりとPR及び売り込みをし、集客増に努められたい。</li> </ul>
<p><b>【所属長意見（今後の方向性等）】</b></p> <p>今年度より新たに5年間の指定管理が始まりました。利用者の安全・安心を第一に考える中、安定した運営が行われました。しかしながら、前年度と比較して、来園者数の減や、事業収支では、収支差引額がマイナスになるなどの課題もありました。マイナスとなった要因には、バンガローやテントなどの施設利用件数の減も影響しているため、増加に向けた取組が必要であり、例えば、イベントの内容などマンネリ化しないよう創意工夫し、参加者の増加に努められたい。そこで、参加者に公園の自然に親しむ環境の魅力や楽しさをしっかりとPRすることで、バンガローなどの施設利用にも繋げていけるよう尽力いただきたい。また、各種団体にも積極的にPRし、相手方の目的や求めていることの接点等を見つけ出し、様々な形で森林公園が関わり利用していただけるよう更なる努力を行っていただきたい。</p>	